



小 論 文

(120分)

人間文化学部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
2. 問題は3学科共通です。
3. 問題は2題で、8ページあります。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1 次の文章は、原ひろ子著『子どもの文化人類学』の一部である。これを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。

(原ひろ子著『子どもの文化人類学』，筑摩書房，2023年。出題にあたり縦書きを横書きに改め，一部漢数字を算用数字に改めるなどの必要な改変を行っている。)

注 インディアンとはアメリカ大陸の先住民のこと。ネイティブ・アメリカンなどとも呼ばれる。

問 1 下線部①「ヘヤーのおとなたちのようすは，危ないと教えることよりも，子どもが早く自分でナイフを使いこなすようになることを重視しているように見えるのです」とあるが，筆者はその理由をどのように考えているか。本文中の言葉を用いながら，200～300字で説明しなさい。

問 2 下線部②「人間が子どもを育てるということは，赤ん坊のもって生まれた可能性を，特定の方向にのぼしてやることであると同時に，ある種の可能性を抑えてしまうことであるようです」とあるが，子育てや教育の可能性について，筆者の考えを踏まえて，あなたの考えを論じなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問題 2 次の文章は齋藤孝著『読書力』の一部である。これを読んで、後の問い(問1, 2)に答えよ。

(齋藤孝著『読書力』, 岩波書店, 2002年。出題にあたり縦書きを横書きに改め, 一部漢数字を算用数字に改めるなどの必要な改変を行っている。)

問 1 筆者は, 読書によってコミュニケーションの質がどのように変わると考えているかを, 300~400字で説明しなさい。

問 2 読書によってコミュニケーション力が格段に上がるとする筆者の意見に対して, あなたの考えを 300~400字で述べなさい。